

平成28年9月5日  
長崎市議会議員  
五輪 清隆

## スコットランド訪問報告書（所感）

平成28年8月20日（土）～26日（金）の日程で、市長・議長・市議団・長崎日英協会の訪問団の一員としてスコットランド（アバデーン市・エディンバラ市）訪問を行ってききましたので報告致します。

### アバデーン市（8月22日）

{アバデーン市との市民友好都市提携の経緯}

※市民友好都市とは：姉妹都市は共通の歴史や文化等を背景に、特定分野に限らない交流を行うものですが、市民交流都市は姉妹都市提携等の形式にとらわれず、自由気軽に付き合え、市民や民間交流団体が主体となって実質的な交流を行うことを相互に意思確認した都市のことで、民間交流をさらに促進することを目的にしています。

長崎市とアバデーン市は日本の近代化に多大な貢献をしたトーマス・グラバー氏との歴史的なつながりがあり、両市のロータリークラブが1996年（平成8年）からトーマス・グラバー奨学生の相互派遣を行うなど市民が主体となった交流が実質的に行われていることから、長崎市から提案し、2010年（平成22年）7月12日に提携締結されました。

{アバデーン市での主な行事}

- ①アバデーン市長訪問      ②水素ステーション視察      ③グラバーハウス訪問
- ④グレンギリ蒸留所視察   ⑤ラグビーアカデミー視察
- ⑥アバデーン市長主催夕食会

#### （1）水素ステーション視察

アバデーン市は、1970年代から北海油田の石油・ガス産業で発展を遂げたが、将来を見据え再生可能エネルギーの実現化に向けて取り組んでいます。

その取り組みのひとつが、水素バスプロジェクトで10台の水素バスを所有し、市内2社のバス会社に貸与して試運転がされています、バスの費用は80万ユーロ（約1億2,000万円）で、他のバスは20万ユーロ（約3,000万円）で1台当たりの水素バスは高額であることから、バスの量産化がされなければバスが高額な為に実用化は厳しいと感じました。

又、水素バスに乗車して2015年（平成27年）3月にオープンしたスコットランド初の水素ステーションを視察しました。

## (2) グラバーハウス訪問

グラバーの両親等が1864年から20年余りにわたり生活した家で、グラバー自身は当時すでに日本に拠点を築いていたため、日本からの留学生を連れて何度か訪れていると言われていました。

1997年(平成9年)8月22日に三菱重工がグラバーを顕彰するためブレーヘッド邸をアバデインの公的団体グラバー・トラストへ寄贈。(三菱重工が地元の持ち主から4500万円で敷地と建物を購入)

その後、運営機関であるグランピアン・ジャパン財団が1998年から一般公開していたが、財団の経営が悪化した為に、2010年7月に記念館閉館およびグラバーハウス売却の知らせが届き、三菱重工が粘り強く保存を求めた結果、2015年3月にグラバーハウスが記念館として再開館しています。

私たちが訪問した時は、保全のための工事が行われていた為に、庭と外観のみの見学となりました。

## (3) ラグビーアカデミー視察

2014年(平成26年)10月にアバデイン大学ヒルヘッドキャンパスに、14才以上の男女で才能があるラグビープレイヤーの指導を目的に開設されています。アカデミーにはプロになれるような選手も在籍しているそうです。施設は筋力トレーニング室や選手の治療室など充実されていました。

- アバデイン市は、日本の近代化に多大な貢献をしたトーマス・グラバー氏が幼少期を過ごしたスコットランド北東部の港町で、イギリスで4番目に古いアバデイン大学を有するなど、古い歴史を持つ街は北海油田が発掘されて以来、資材・食料などの補給基地として街の経済が発展しています。

私たち訪問団は、アバデイン市長・議長より心温まるおもてなしを頂き感謝すると共に、両市の友好が更に強まる事を祈念するしだいです。

## エディンバラ市(8月23日・24日)

{2019年に東京で開催されますラグビーワールドカップの事前キャンプ地にスコットランドラグビーチームが長崎市を選定されましたので正式に調印式となりました}

- 今回、訪問団の最大の目的は2019年9月20日から11月2日の日程で日本で開催されますラグビーワールドカップの「事前キャンプ地の調印式」です。

長崎県はワールドカップ日本大会の会場に立候補しましたが落選となり、長崎市はスコットランドラグビー協会に長崎市での事前キャンプ地の誘致活動を行い、関係者皆さんの努力によりまして調印する運びとなりました。

{エディンバラ市での主な行事}

- ① スコットランドラグビーユニオンによる歓迎レセプション
- ② U15によるラグビー交流試合観戦（長崎チーム VS スコットランドチーム）
- ③ 在エディンバラ総領事主催レセプション
- ④ ミリタリータトゥーショー見学（スコットランドラグビー協会より招待）
- ⑤ スコットランドラグビーユニオンとの調印式セレモニー
- ⑥ エディンバララグビーチームのトレーニング見学
- ⑦ 公式スタジアム施設見学

- 2日間の日程でラグビーの本場である、英国（スコットランド）に初めて訪問しましたが、ラグビー協会の配慮した対応に感謝しています。

スコットランドに派遣されました、長崎の中学生ラグビーチームは地元チームとの交流試合やプロのラグビー選手との交流・練習など貴重な体験をされて、一生に一度の経験をされたと思います。その経験・体験を高校生になっても今後にかけて長崎のラグビー躍進に期待したい。

来年6月にスコットランドラグビーチームが、熊本県で親善試合をするようなので、その後の長崎市での再会を楽しみにしています。

今後、私も事前キャンプの成功に向けて、今回訪問された議員・関係者の皆さんと協力していきたいと思います。

訪問地で対応して頂いた関係者の皆さんに改めて感謝します。